

私らしく
咲く
ふじのくに
なでしこ宣言企業



「制度より社風」で両立



建材事業部で子育てと仕事を両立中の渡辺佳代さん（右）。豊田浩子専務（左）も2人の子育て経験があり、頼れる存在。袋井市

る。3年前の3人目の出産に当たり、フレックスタイムを申し出た。

「制度自体は完璧ではないと思う。でも、一人一人の社員の意見をくみ取ってくれる社風がある」と中村さん。「次の世代につなぐため、私たちも制度づくりに参画していきたい」と感じている。

（第2、4金曜日に掲載します）

本社建材事業部の売上係長、渡辺佳代さん(38)は保育園に通う2人の息子を持つワーキングママ。2度の育児休業を取得し、今はフルタイムで働いている。

子どもの病気や通院で早退することもしばしばだが、「子育てと仕事を両立してきた先

輩社員が多く、互いにフォローし合える環境がありがたい」と話す。同社の男女比率は半々。子育て中の女性も、補助的な役割でなく、仕入れや発注業務に携わる。

島田支社発注部課長の中村

美幸さん(42)もその1人。3児の母で、職場では管工関連を中心に、数千社のメーカーと数万点の商材をやり取りす

企業データ

本社 袋井市
業種 管工機材など卸販売
従業員 220人(うち女性102人)

丸尾興商

私らしく
咲く
ふじのくに
なでしこ宣言企業



時差出勤で時間にゆとり



印刷物の打ち合わせをする大橋晴華さん（左） 藤枝市

生産本部の大橋晴華さん(25)は入社7年目。印刷物作成の最終工程と言える小分けや梱包、発送を担う「仕上げグループ」のサブリーダーとして、9人のアルバイトスタッフのシフト作成から、取引先とのやり取りに忙しい。

「負けず嫌いで、何でも完璧を目指してしまう」性格。男性や年上スタッフが多い製造現場でも、凜として働く大橋さんの仕事ぶりは、「社内

外で評価が高く、信頼が厚い」（鈴木聖子人事部長）。

プライベートでは、昨年9月に結婚。仕事に家事にと、全力投球し過ぎたために体調を崩したこともあった。そんな中、上司の働き掛けで「時差出勤」制度を活用。出勤を午前8時半から9時に変更し、

出勤前の時間に余裕が出た。体調管理の大切さを実感し、「休日は意識的に気分転換して過ごすようにしている」という。

＜第2、4金曜日に掲載。バックナンバーは「こち女」サイトへ＞

企業データ

本社 藤枝市
業種 印刷、情報サービス
従業員 143人(うち女性52人)

共立アイコム